

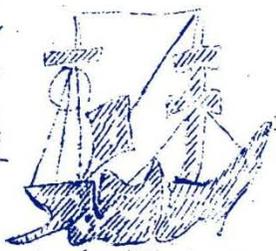
# 敵もよめるもの

渡辺 巖

先日行われた大友総合選手権の時、優勝戦を見てもらい、我々の高津ウラアミ、こまごで成長したのかと今さらながらその發展ぶりに目をみはりました。体力と云い私がハンドボールを手にして以来、当時をふりかえつて、非常に気がづかしい思いです。当時はまだ戦後の困窮からぬり切つていなかつたので、都会の学生と地方のそれとでは、体力的に全く段の差があつたもので、このことに反省は、食料物が粗末なせいから、中々より成長が止つていられ、学校中、で二、三番のデビでした。だから、郡部の学校と対戦する時は、さながら大人と子供が相撲をしていゝようなもので、こんどお話をしなうとありさまでした。

わすれもしません、豊中校と対戦した時でした。私の身長は二倍程もある相手か、目の前にさうとうして来ては私の頭上はるかからショットして行くので、人一倍負けん気の強かつた私はこれではいけないと、

相手がショットするし、人かん飛び上つたのですが、敵もよめるもの、気配をさつして下からショットされて、それを腹にまともにあつた、それからまりません。グーというなりその場に転倒してしまつて、あれもこれも、今振り返つて楽しく、又なつかしい思い出です。



クレーンバルタンの言葉

クレーンバルタンの言葉  
「オリンピック競技に於て最も重要な事は勝つ事ではなくて参加する事である。人生に於て最も大切な事は、成功する事ではなくて努力する事である。競技の核心をなすものは、単なる斗争ではなく正々堂々と競う事である。この心を銘記してこそ、より強き、より雄たけしき、より慎重な、より勇気ある人間性を養う事ができる。」